

就任のごあいさつ

このたび、令和4年9月4日に執行されました町長選挙におきまして、引き続き2期目の町政の舵取りを担わせていただくこととなりました。

改めてその責任の重大さに身の引き締まる思いであるとともに、町民の皆様から寄せられた信頼と期待をしっかりと受け止め、全力で職務に取り組んでまいり所存であります。



1期目の4年間を顧みますと、就任当初は「公共事業の発注をめぐる官製談合防止法違反及び公契約関係競売入札妨害」事件により失われた町政の信頼回復のために、まずは入札制度の見直しに着手し、透明性と公平性、公正性が確保される制度に改めることに努めました。

また同時に、喫緊の課題として掲げていた「くらて病院の移転建替え」と「庁舎等建設」について取り組んでまいりました。

「くらて病院の移転建替え」については、理事長をはじめ病院経営の関係者と協議を重ね、町民の皆様への説明会を行った上で事業を推進してまいりました。

その結果、令和3年10月1日に無事、開院することができました。設立団体の長として、くらて病院が引き続き町民の皆様と周辺地域住民の方々の生命と健康を守る役割を十分に果たすようにしてまいります。

「庁舎等建設」についても、災害時等の防災拠点となる役場庁舎を早急に整備する必要があることから事業を推進するにあたっては、町民の皆様への説明責任を果たしながら進めてまいりました。

本年7月に造成工事が完了し、現在、建設工事に着手できるよう準備を進めている段階です。

令和2年1月には、中国で発生した新型コロナウイルス感染症が全世界に拡大し、国内においても確認されてから瞬く間に感染拡大していきました。

この感染症の拡大は、世界経済にさまざまな悪影響を及ぼしています。日本においても、政府が国民に対し感染防止対策として行動制限や飲食業者をはじめ様々な企業に対し営業制限などを指示し、国民生活や経済活動に規制をかけざるを得ない状況となりました。

本町においても、国の感染防止対策や経済対策と連動して、さまざまな独自事業に取り組んでまいりましたが、本来の町の事業を中止せざるを得ない状況になり、町民の皆様へ十分な行政サービスをお届けできなかったことを残念に思う1期目でもありました。

2期目となります。これからの4年間においても、未だ終息が見通せない新型コロナウイルス感染症、ウクライナ情勢による原油や天然ガスなどのエネルギー資源の高騰、アメリカと日本との金利格差による急激な円安などさまざまな要因での物価高騰により、国内外の経済情勢は、引き続き厳しい状況が想定されています。

このような情勢の中で、国と歩調を合わせ感染症対策や経済対策を引き続き講じつつ、本町としての課題である新庁舎等の移転建替をはじめ、博物館別館（石炭資料展示場等）を整備・建設し、さらに子どもたちの教育環境を整備するための小学校統合事業、そして人口減少対策などに取り組んでいかなければなりません。

また、町民の誰一人も取り残されることなくデジタル技術を活用した行政サービス等の効果を享受できるよう、行政手続のオンライン化などを可能にするデジタル社会の構築に取り組むことで、事務の効率化が図れる自治体を目指して、「自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）」を推進していきます。

本町を取り巻く状況は、今後も大きく変化することが想定されます。

これからの4年間は、将来の鞍手町を形づくる上で大変重要な時期であると考えております。

私の町政に対する情熱は、4年前に就任した時と変わることはありません。

鞍手町の更なる発展のため、これまでの経験を生かしながら「流れを止めず飛躍する町に」することを目指し、町民皆様と共に知恵と力を出し合いながら、社会情勢の変化に順応した活力ある明るい未来に続く持続可能なまちづくりに邁進してまいりますので、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、2期目の就任のごあいさつとさせていただきます。

令和4年9月9日

鞍手町長 岡崎 邦博